

# 第13回 未来SC研究会



## 「スマホ位置情報で分析する SC マーケット」

私たちが日々何気なく利用しているスマートフォンのアプリ。実はその瞬間、瞬間に皆さんの行動の記録がデータとして抜き取られています。それら大量に蓄積された行動データと、機械学習のひとつであるアソシエーション分析によって SC の施策を導き出す取り組みが今始まっています。今回は未来 SC 研究所のメンバーであり、数多くの SC のデータ分析を手掛けてきた株式会社 BBI の馬場宏和氏に、最新事例をご紹介します。

※一例として秩父エリアの人流を視てわかるデータ分析を行います。なお、前日の6月21日には自由参加で秩父郡横瀬町のまちづくり施設の視察と、自治体担当者との情報交換会も実施します。(視察会の詳細・お申込については別途ご案内チラシをご参照下さい)

■日 時■ 2023年6月22日(木)18:30~20:00 ※18:20~受付

■プログラム■ 「スマホ位置情報で分析する SC マーケット」

・登壇 馬場 宏和 (株式会社 BBI 代表取締役)

・コーディネーター 未来 SC 研究所共同主宰

山田 宗司 (前・JR西日本SC開発株式会社 会長・顧問)

佐々木 健雄 (大和ハウスリアルティマネジメント株式会社 SC事業部開発部長)

ハーレイ・岡本 (株式会社イマジネーションプロみなみかぜ 代表取締役)

### 会場開催

■会場■ ちよだプラットフォームスクウェア会議室 506

東京都千代田区神田錦町 3-21

(アクセス) <https://www.yamori.jp/access/>

■定員■ 先着 20 名程度 (※定員に至った時点で締め切らせて頂きます。予めご了承下さい。)

■参加費■ 3,000 円 ※当日現金にてお申し受けいたします。お釣りの無いようご用意をお願いいたします。

■懇親会■ 調整中 (別途ご案内いたします)

■申込方法■ **下記URLもしくはQRコードより「《会場開催用》参加申込フォーム」**をご利用下さい。

※参加申込フォーム入力送信後、当日使用の受付番号、会場案内等の詳細が配信されます。

**《会場用》参加申込フォーム** <https://ws.formzu.net/fgen/S99826770/>

■締切■ 2023年6月16日 (金)



### Web開催

■会場■ Zoom ※アクセス用 URL は参加申込フォーム入力送信後に配信されます。

■定員■ 先着 100 名程度 (※定員に至った時点で締め切らせて頂きます。予めご了承下さい。)

■参加費■ 3,000 円 ※お振込みをお願いいたします。詳細は参加申込フォーム入力送信後に配信されます。

※Web懇親会の開催はございません

※当セミナーシステムはサービスの安定運用に万全を尽くしておりますが、機材環境・回線状況等でやむを得ず遅延・中断される可能性がございます。その場合には、当方では責任を負いかねますので、何卒ご理解の上ご受講くださいますようお願いいたします。

■申込方法■ **下記URLもしくはQRコードより「《Web開催用》参加申込フォーム」**をご利用下さい。

※参加申込フォーム入力送信後、Zoomアクセス用URL・参加費振込先等の詳細が配信されます。

**《Web用》参加申込フォーム** <https://ws.formzu.net/fgen/S38636431/>

■締切■ 2023年6月16日 (金)



■後援■ 織研新聞社  
■問合せ先■ 未来 SC 研究所事務局 (株式会社イマジネーションプロみなみかぜ内)

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-10-45-407 03-6441-2500 [miraisc@minamikaze.jp](mailto:miraisc@minamikaze.jp)

# 未来 SC 研究所 発足に向けて

日本の商業施設、その最たるショッピングセンター（以下 SC）は果たしてどこへ行こうとしているのか。われわれは先般発行した『突破する SC ビジネス』（織研新聞社）において、あるべき近未来の SC 像を官民連携という視点から、世に問うた。

それは、人口減少及び少子化・高齢化という長期的な社会変動を踏まえ、官と民のニーズの近接化を大きなエレメントとして経営に導入し、とりわけ地方の SC が、今後ともサステナブルで且つ共生社会における新たな社会資本として自己変革するプロセスを提案したものである。

今や SC は、大都市立地や大資本運営の一部の SC を除き、従来の延長線上の施策では将来的な維持が見込めないところまで来ている。

しかしながら、SC 経営に従事する者として、それをどれほど意識し、危機感を共有し得ているのだろうか。『突破する SC ビジネス』の出発点はまさにそこにある。

すなわち、運営管理、MD 構造、収益基盤等、あらゆる面において変革を図り、未来への展望を示すこと。われわれの決意も、まさにその嚆矢たらしめるものである。

熱き有志とともに、先著において提唱した SC モデルにさらなる創意工夫を加え、近未来のうちに実現することこそ、この未来 SC 研究所のめざすところである。

さらには、この SC を全国的に展開し、各 SC 間のネットワークと地域の人々とのインターアクションにより、全国各地に独自の地域価値とサステナブルな共生社会を創造することを長期の目標とする。

以上の使命を全うするため、ここに『未来 SC 研究所』の創設を発意するものである。

流通業界、ディベロッパ、自治体の地方創生担当者の必読書

日本にショッピングセンター(SC)が誕生して半世紀。以後、拡大し続け今や全国に3200館を有する。しかし競争激化、ECの台頭、社会構造の変化で2019年には純増数はマイナスに転じた。SCは曲がり角に立っている。本書はとりまく環境変化を探り、今後のSCのモデルを提示した。ショッピングから行政サービスの支援までを担う基盤施設づくりを提案している。



新刊  
好評発売中

大壺 聡  
&  
未来 SC 研究会

判型：四六判（384頁）

定価：2,420円  
（本体2,200+税）（送料込み）

本書の内容

- 序 論 新時代の商業施設
- 第1部 SC半世紀の総括
  - 第1章「玉川高島屋ショッピングセンター」の軌跡
  - 第2章「日本ショッピングセンター協会」の設立とあゆみ
  - 第3章「日本式SC経営」の新たな発展型を求めて
- 第2部 転換期のSC
  - 第1章 生き残りを賭けた時代に
  - 第2章 SC内部の課題
  - 第3章 外部構造からの影響と対応のあり方
- 第3部 サステナブルな未来型SCを目指して
  - 第1章 SCモデルの多様化
  - 第2章 SCビジネスモデルの転換
  - 第3章 官民連携を促進するSCの可能性
  - 第4章 突破するSCビジネスモデル「SoC」
- 【対談】 地域、課題、行政との共生へ。近未来のSCの形、あり方を探る。
- OPINION 道徳と交歓、安楽の富地へ SCが次代を継承する時代が来る

参考文献  
ご案内

6/22のセミナー  
は裏面記載の参加  
申込フォームより  
お申込下さい。

こちらは「書籍」の  
購読申込書です。

購読  
申込書

下記のアドレス宛てに必要事項を明記の上、お申込みください。

haley@minamikaze.co.jp

[突破するSCビジネス / 続・新ショッピングセンター論]を  申し込みます。

会社・団体名 申込者名	通信欄
〒 住所	
tel mail	